



厚生労働省福島労働局発表
平成30年8月20日(月)

担 当	【照会先】
	福島労働局職業安定部職業安定課
	課長 伊東英敏
	課長補佐 安田寿夫
	地方職業安定監察官 佐藤康昌
	TEL 024(529)5578 FAX 024(536)4200

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価に係る 平成29年度総合評価の結果

福島労働局（局長 森戸和美）は、ハローワークの求人・求職のマッチング機能の一層の強化を図るため、平成29年度に実施した総合評価の結果をとりまとめました。

総合評価は、従来のPDCAサイクルによる目標管理を拡充し、マッチング機能の総合評価を行うことで、ハローワークの業務改善につなげ、更なる機能強化を図ることとしております。このため、労働市場の状況や業務量、体制が同じような全国のハローワークで11のグループを作り、その中で比較・評価を行うもので、年度当初にマッチング機能に関する数値目標を設定し、翌年度に業務の評価・改善を行うものであります。（別添1、2参照）

今般、平成29年度の評価結果が下記のとおりとなりましたので、各ハローワークの就職支援業務報告と併せて公表いたします。

記

総合評価の結果

① 「良好な成果」（評価類型2）

平所、白河所、須賀川所、相双所

② 「標準的な成果」（評価類型3）

福島所、会津若松所、郡山所、二本松所

参考

評価類型1：非常に良好な成果

評価類型2：良好な成果

評価類型3：標準的な成果

評価類型4：成果向上のため計画的な取組が必要

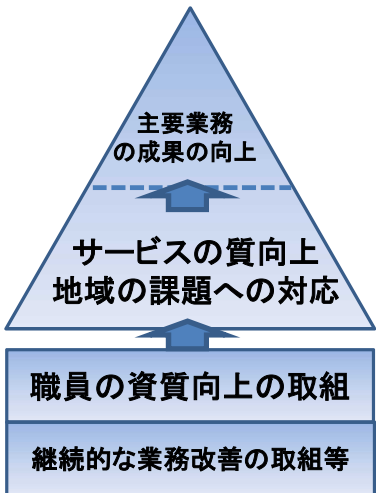
ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）

別添1

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。


PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 従来取組(就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、業務の質の指標、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を設定している。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



短期的な成果の向上だけでなく
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り
就職支援を強化

ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表
→主要指標の実績を毎月、総合評価を年度終了後に公表
- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。


重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
 - ①評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ②改善計画を作成、本省・労働局が重点指導(評価期間終了後)
 - ③好事例は全国展開(評価期間終了後)
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

総合評価を実施

※所重点指標・所重点項目は、ハローワークごとに、評価対象とする業務・取組を選択して実施

全ハローワークで共通する評価 (全所必須指標)

(1) 主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- 就職者数
- 求人充足数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2) 補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- 満足度調査(求人者・求職者)
- 紹介率(求人・求職者に対する)

ハローワークごとの重点的な取組の評価 (所重点指標・所重点項目)

(1) 所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- 障害者の就職者数
- 正社員求人数
- 生活保護受給者等の就職者数 など

(2) 所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況の評価

- 職員による事業所訪問の実施
- 求職者担当者制の実施
- 職員による計画的なキャリア・コンサルティング研修の受講など

平成30年度

総合評価の決定(平成29年度内容分)に係る
就職支援業務報告



福島労働局職業安定部

平成29年度ハローワークのマッチング機能に関する業務実績

【マッチング機能に関する中核的な指標】(主要指標)

	労働局計	福島	平	会津若松	郡山	白河	須賀川	相双	二本松
就職件数 (常用)	32,439件	5,853件	6,267件	4,875件	6,246件	2,380件	2,378件	2,849件	1,591件
充足件数 (常用)	31,184件	5,789件	5,757件	4,560件	6,262件	2,260件	2,000件	2,901件	1,655件
雇用保険受給者の早期再就職件数	8,768件	1,638件	1,702件	1,199件	1,785件	626件	668件	632件	518件

※就職件数 ハローワークの紹介により常用就職した件数

充足件数 ハローワークの常用求人(受理地ベース)の充足件数

雇用保険受給者の早期再就職件数 雇用保険基本手当の所定給付日数を3分の2以上残して就職した件数

ハローワーク福島 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数・充足数及び雇用保険受給者の早期再就職件数の目標を最重要と考え、特にマッチングを重点的に進めることとし、双方向性の求職者担当制の実施、求人充足会議の開催、人材確保対策のための企業見学会・ミニ面接会を実施した。

特に雇用保険受給者の早期再就職件数の増加を図るため、「初回講習会」（ハローワークの支援メニュー等の説明）の内容を充実させ、早期再就職の支援を実施した。

また、福島市の生活福祉課に開設したハローワークコーナーでは、福島市と連携し生活保護受給者等がワンストップによるサービスを受けられるよう就職支援を実施した。伊達市については、出張相談を実施した。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・各種職員研修を実施した。（学卒求人受理研修、助成金研修、ハローワークのマッチング機能の総合評価研修、紹介スキル向上研修）
- ・職業相談業務に従事する職員等が統一的に取扱う「職業相談マニュアル」を作成した。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・職業相談の待ち時間短縮を図るため、雇用保険給付課と連携し、認定日来所者数の平準化、早朝や昼の時間帯を避けた認定時間の設定を行った。
- ・ハローワーク利用者満足度調査結果により、「求人窓口までの行き方が分かりづらい」との意見を受け、庁舎玄関から3階求人・企画部門まで3か所に案内板を設置した。
- ・求人充足会議においてマッチングのための求人情報一覧表を作成し、失業認定来所者の職業相談時に求人情報提供を行った。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・マッチング強化のため、庁舎内外掲示での求人票の見せ方について改善を図りたい。
- ・人材不足分野対策として、人材サービスコーナー（福祉・建設・警備・運輸）を設置し、ミニ面接会、職場見学会等の取組を強化したい。

（4）その他業務運営についての分析等

- ・窓口職員の専門性向上による職業紹介業務の技法を高めることが必要と思われるため、キャリアコンサルティング研修の強化に取り組む。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護受 給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサ ポーターの支 援による正社 員就職件数	ハローワークの 職業紹介により 正社員に結びつ いたフリーター等 の件数	マザーズハロ ーワーク事業に おける担当者 制による就職 支援を受けた 重点支援対象 者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	5,853	5,789	1,638	74.1%	93.0%	24.0%	22.4%	196	251	1,074	1,381	92.3%	14,506	2,917
目標	6,074	6,255	1,559	90.0%	90.0%	24.9%	23.0%	173	296	1,131	1,116	89.4%	16,164	2,790
目標達成率	96%	93%	105%	—	—	96%	97%	113%	85%	95%	124%	103%	90%	105%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク平 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職・充足件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、求職者担当者制の推進、マッチングによる求人情報の提供、プラス2サービス（応募する求人がなかった場合でも新たな求人の提案を行う等）の徹底、求人充足会議や未充足求人フォローアップ会議で選定した求人に対する早期充足に向けた求人担当者制によるマッチングからフォローアップまでの支援の充実を図った。

また、人手不足解消のため、人手不足分野（医療、介護、保育等）を対象とした自治体や業界団体との共催による「タイアップ型企业説明会」（業種別合同企業就職面接会）を開催した。

このほか、正社員の求人の拡大を図るため、ハローワーク、いわき市、福島県、労働基準監督署4者による正社員等拡大要請を実施した。

さらに、求職者が応募する仕事への理解を深められるよう事業所画像情報の収集と事業所情報コーナーへの画像情報（A4の拡大版）の貼り出しを積極的に推進した。事業所情報コーナーについては、求人者・求職者ともに好評を得ている。

② 職員の資質向上に向けた取組

当所では、応募する求人に偏りがみられ、紹介件数は増加しているものの、就職件数の増加につながっていないことから、マッチング力を現状より向上させるため、マッチング向上作戦による研修（紹介力向上、求職者支援力向上、キャリアコンサルティング向上等）を実施し、職員の資質向上に努めた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者向けのテーマ別情報誌「ハロマガ I W A K I」を継続的に発行した。また、窓口相談者向けに配付する求人情報誌「ファストプレス」を新たに作成した。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

「タイアップ型企业説明会」については、引き続きいわき市、関係機関・団体等と連携を強化しながら、より多くの求職者の皆様に参加していただけるよう改善を図ることとします。

また、当所の労働市場においては、高年齢者の滞留が見られることから、引き続き生涯現役支援窓口を中心に高齢者への就職支援を強化していくこととします。

(4) その他業務運営についての分析等

若年労働者の確保については、地域の最重要課題であり、特に中小企業における人材確保については重点的に取り組む必要がある。このため、高校生の地元定着を促進するためイベントを積極的に開催していく予定である。

また、UIJ ターンの取組については、地方自治体の移住者支援策と積極的に連携しながら促進する予定である。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護 受給者の 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援 による正社員し 就職件数	ハローワークの 職業紹介により 正社員に結びつ いたフリーター等 の件数	マザーズハロ ーワーク事業に おける担当者 制による就職 支援を受けた 重点支援対象 者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	6,267	5,757	1,702	76.0%	94.5%	20.3%	23.1%	146	255	380	1,274	95.3%	17,760	3,651
目標	6,132	5,851	1,681	90.0%	90.0%	20.2%	23.5%	85	244	470	874	89.4%	20,355	3,441
目標達成率	102%	98%	101%	—	—	100%	98%	172%	105%	81%	146%	107%	87%	106%

※「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク会津若松 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

就職件数等目標達成のため、前年度の取り組みを検証し、求人票および求職票の完全記載と記載内容の充実など基本業務の徹底を図った。ピックアップ求人情報（※1）の作成、グレードアップ求人（※2）の掲示、求人票とともに事業所紹介画像の掲示を行った。また、人材不足分野の業種、職種を対象としたミニ面接会を定期的実施し、求職者へ求人票以外の事業所情報を提供した。特に求職者担当者制を中心に個別支援の強化を図り積極的なマッチングに努めた。

さらに、求人充足会議において、求人の条件や仕事の内容について詳細に検討しその結果を事業所訪問時に説明、助言しわかりやすい求人票記載や条件緩和に努めた。ミニ面接会や職員の事業所訪問についての取組は事業所から新たな取り組みを理解していただき高い評価を受けることができた。

※1 ピックアップ求人情報・・・正社員に特化した求人情報誌

※2 グレードアップ求人・・・ハローワークの助言等により、求人の要件を緩和したり、条件をアップしてもらった求人に対しては、その充足率を高めるため、所内入り口の目につきやすい場所に掲示板を設置し求人票を掲示、条件がアップしたことを強調し、求職者の応募意欲を喚起するもの

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取り組み

P D C Aに関する目標値の進捗状況を毎月幹部職員会議で検証し、業務改善や取組み強化について検討を実施した。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

庁舎が狭隘なため、ハード面の改善は困難な中で、求職者に対する事業所情報や様々なイベント情報を工夫しながら掲示や提供を実施するなどソフトの面で改善を図った。

利用者が満足していただけるよう接遇の向上についても年度当初に研修を実施し職員、相談員に徹底させた。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取り組みについて

求職者に対しての詳細な事業所情報の提供、求人者に対する事業所訪問による緩和指導等は、効果的なマッチングに不可欠な取組みであるため継続的に実施していく。今後は、所長をはじめ幹部職員と窓口担当者が計画的に事業所訪問を実施し、求人票からは見えない事業所

情報を収集し、職員が共有することとする。

(4) その他業務運営についての分析等

当地域の特性から労働力を他地域から確保することが通勤等の問題で困難な状況にある。さらに新規求職者の約半数が45歳以上であり求職者と求職者の効果的なマッチングに苦慮している。そのような中で、詳細な事業所情報の提供や地域労働市場の特性を説明した中での求人条件の緩和が必要となる。今後は求職者担当者制の強化やプラス2サービス(※3)を徹底した能動的なマッチングに努め就職数、充足数の増加に努めていく。

※3 プラス2サービス・・・【プラス1】職業相談時に1件でも多く求人情報を提供するサービス

【プラス2】応募書類の作成指導を積極的に行うサービス

2 総合評価(※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果(主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期 再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	4,875	4,560	1,199	78.2%	90.2%	22.7%	24.8%	129	214	92.1%	8,938	2,257
目標	5,137	4,727	1,169	90.0%	90.0%	23.8%	25.4%	85	178	89.4%	9,861	2,247
目標達成率	95%	96%	103%	—	—	95%	98%	152%	120%	103%	91.1%	100%

「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク郡山 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

- ① 当所では、職員・相談員を対象にキャリアコンサルティング研修など5種類の研修を行い、職業相談技法の向上及び求職者支援のための知識習得に努めた。その結果、就職率（常用）が前年度と比較し0.5ポイント向上した。
- ② 求人充足支援強化を図るため、特に、人手不足分野である建設・警備・運輸・保育・介護・看護の面接会、セミナー、職場見学会を実施した。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ① 求人者サービス向上の取組として、これまで一般求人は本所で、学卒求人は新卒応援ハローワークで受理していたものを、平成29年度からすべての求人を本所で受理することで、求人者の利便性を向上させた。
- ② 来所者のための環境改善の取組として、老朽化した求人検索機用椅子を新しい椅子に交換した。（36脚）

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

求人と求職のマッチング機能強化を図るため、ハローワークの相談端末機に細分化した地域コードを新設し、より詳細な地域での求人検索が出来るようにした。

（4）その他業務運営についての分析等

当所の平成29年度の月間有効求人数については、対前年度比で3.7%増加しており、震災需要が落ち着いた現在も上昇傾向で推移している。一方、月間有効求職者数は対前年度比▲2.3%減少し、震災以降、減少傾向が続いている。そのため、月間有効求人倍率は、震災以降上昇傾向で推移し、平成30年3月現在1.69倍となっており、福島県より0.18ポイント、全国より0.1ポイント高くなっている。今後もこの傾向は続くと考えられるため、求人の充足支援強化及び潜在求職者のハローワーク利用促進等の求職開拓の取組が必要である。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護 受給者等 の就職件 数	障害者の 就職件数	ハローワー クの職業紹 介により正 社員に結び ついたフリ ーター等の 件数	公的訓練 終了3ヶ月 後の就職 件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の 就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	6,246	6,262	1,785	80.8%	84.6%	20.7%	21.9%	224	262	1,695	393	91.0	21,155	3,511
目標	6,281	6,410	1,673	90.0%	90.0%	22.4%	23.2%	215	229	971	371	89.4	23,416	3,265
目標達成率	99%	98%	107%	—	—	92%	94%	104%	114%	175%	106%	102%	90%	108%

※「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク白河 就職支援業務報告（平成 29 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要指標の就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を最重要と考え、特にマッチングを重点的に進めることとし、マッチング求人の情報提供、求職者担当者制の実施、求人充足会議の開催、雇用保険受給者の給付制限中の来所勧奨相談などの取組を行った。

特に雇用保険受給者の給付制限中の来所勧奨相談については、来所勧奨の件数が 624 件、うち来所相談件数が 366 件、来所相談割合は、58.7%となった。来所勧奨相談のうちマッチングに結びつきやすい求人の選定に力を入れ、紹介件数が 208 件で相談紹介率は 56.8%、うち就職件数が 88 件で紹介成功率は 42.3%となり、一定の効果がみられる結果となった。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

29 年度は、入口付近の情報掲示板の改善を図った。プロジェクトを組み、使い方や見やすくわかりやすい掲示方法について検討を行い平成 30 年 1 月から新しい情報掲示の取り組みを開始した。この取組については、利用者から「求人票や企業情報等がわかりやすくなった」などの評価を受けることができた。

また、平成 30 年 1 月には、潜在的求職者に対しハローワークの支援メニューを広く周知するため、職業相談窓口利用促進リーフレット「ハローワークで一緒にお仕事探しませんか？」を作成し、自治体や公共施設、スーパー、コンビニ等に配布依頼している。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者への情報提供については、情報提供件数の目標 2,400 件に対し 2,503 件の実績となり目標を上回り、紹介率の目標 25%に対し 21.7%、紹介成功率の目標 32.5%に対し 36.5%、就職件数の目標 195 件に対し 198 件と、マッチングの精度は前年度より向上したと思われるが、紹介率が目標を下回る結果となった。求職者が減っていることから窓口を利用しない求職者や潜在的な利用者への積極的なアプローチが必要と思われる。このため、求人情報検索機利用者への声掛け相談や雇用保険受給者に対する窓口相談利用勧奨、自治体や商業施設等への当所支援メニューや求人情報配架等にも取り組み、ハローワークの利用促進を図る。

(4) その他業務運営についての分析等

平成 29 年度は、新規求職者や就職件数が前年度より若干増加したものの、紹介件数は前年度を下回り、全体的に当所利用者が減っている状況が見られる。

求職者にとって魅力ある求人確保のための、正社員求人開拓の目標値 480 人に対し、493 人（達成率 102.7%）と目標を上回ったが、正社員求人確保の目標全体 5,039 人に対しては 4,563 人（達成率 90.6%）に止まる結果となった。

また、正社員就職件数については、マッチング求人の情報提供の目標値 1,200 件に対し、1,178 件（98.2%）の実績、正社員就職件数の目標値 1,140 件に対しては 1,232 件（108.1%）という実績となった。

今後は、より多くの正社員求人の開拓とマッチング精度の向上に力を入れ、同時に有効求職者や潜在的な利用者に対し積極的な窓口相談利用の勧奨を実施していきたいと考えています。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受給者等 の就職件数	ハローワークの職業紹介により、正規雇用に結びついたフリーター等の 件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	2,380	2,260	626	89.3%	99.0%	22.7%	22.8%	71	447	4,563	1,232
目標	2,467	2,316	588	90.0%	90.0%	26.2%	22.3%	43	313	5,039	1,140
目標達成率	96%	98%	106%	-	-	87%	102%	165%	143%	91%	108%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク須賀川 就職支援業務報告（平成 29 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、求職者ニーズの高い正社員就職を最重点と考え職業紹介業務にあたった。求人開拓においては地域におけるニーズの高い製造業の正社員求人の開拓に努め、職業紹介では正社員就職につながるよう、就職セミナーへの受講勧奨や助言を行った。中でも、フリーター等の正社員就職について、開拓した正社員求人への応募促進を基本に、若者へ正社員就職のメリットを説明するなど職業意識形成支援も行った。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職業紹介担当者の職業紹介スキル向上に取り組み、求職者担当制による求職者のニーズに対応した就職支援を行い、積極的に求人情報を提供した職業紹介にも努めた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

所内掲示物や案内表示について満足度を高めるため、所内掲示物の掲示環境の改善を図った。多くの労働行政関係情報のほか就職関連情報を、優先順位を決め掲示した。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人と求職者のマッチングを促進するため、より一層事業所の状況を知ることが必要となります。事業所の画像情報の収集のほか事業所見学会など職業相談員が事業所を知る機会を増やし、求職者に対して求人票以上の情報を提供することができるよう情報収集にあたる。

（4）その他業務運営についての分析等

須賀川市と須賀川商工会議所との須賀川市雇用対策協定に基づき実施している雇用対策の『新規大学等卒業者向け就職ガイダンス』や『一般求職者向け合同就職面接会』の実施にあたっては、三者の推進協議会で綿密な打合せを行うなど十分な連携により効果的な運営ができたと考えている。今後も事業の活性化のため工夫や改善を重ねることとします。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

今年度より「精神障害者等障害者就職促進セミナー」を開催し、41 事業所が参加。また、平成 28 年度から当所主催で「障害者就職面接会」を開催し、今年度は 22 事業所と障害者 69 人が参加。障害者雇用の理解が進んだものと考えます。また、平成 30 年 4 月より法定障害者雇用率が上がることから引き続き周知啓発に努めます。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護受 給者等の 就職件数	ハローワークの 職業紹介により 正社員に結びつ いたフリーター等 の件数	正社員 求人数	正社員 就職数
実績	2,378	2,000	668	89.2%	90.5%	19.6%	21.8%	76	712	5,631	1,323
目標	2,406	2,097	647	90.0%	90.0%	22.4%	24.1%	43	385	5,944	1,258
目標達成率	99%	95%	103%	—	—	88%	90%	177%	185%	95%	105%

※「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク相双 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、人手不足対策を最重点課題と考え、ハローワークを会場とするミニ面接会の開催に積極的に取り組み、人手不足職種や正社員求人を中心に、年間延べ29回（本所・出張所合計）開催した。

また、南相馬市が主催する看護職・介護職の面接会（看護職2回、介護職1回）にも積極的に参画して人手不足対策の取り組みを行った。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワーク利用者及び就職を希望する地域住民の方々にできるだけハローワークの相談窓口をご利用いただき、ハローワークで受理した求人ととのマッチングを図るため、窓口相談利用の申込を円滑にするための「窓口相談希望カード」の求人検索装置周辺への配置や窓口利用のメリットについての周知・案内を積極的に行うとともに、地元自治体（南相馬市）との連携のもとに、町内会回覧板へ当所の求人情報を添付して回覧することにより、幅広く求人情報及びハローワーク利用の周知・広報を行って、利用の促進を図った。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

平成29年度後半から求職者の減少傾向がみられ、ハローワークにおいて受理した求人に対する紹介や充足が十分に行えていない状況となっていることから、ハローワークを利用する求職者の方々に対し、引き続ききめ細やかな相談支援を行うとともに、職業相談時や電話・郵便等を通じて、適合する求人の情報を積極的に提案、提供することにより、就職の促進と求人の充足を図っていく。

（4）その他業務運営についての分析等

雇用情勢の改善による求職者数の減少、求職者の求職志向の多様化に伴い、求人充足が困難となっている状況の中で求人充足を図っていくためには、求人者に対し求職者の希望状況に基づいた求人条件の設定や未充足要因の分析に基づく求人内容の改善など、適切な提案・助言を行うことが必要であると考えている。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	障害者の就 職件数	ハローワークの 職業紹介により、 正規雇用に結び ついたフリーター 等の件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	2,849	2,901	632	81.8%	96.0%	21.7%	25.6%	118	624	8,770	1,525
目標	2,549	2,628	562	90.0%	90.0%	22.2%	25.8%	79	286	8,186	1,171
目標達成率	112%	110%	112%	—	—	98%	99%	149%	218%	107%	130%

※「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク二本松 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① ミニ面接会と求人者担当制の実施

当所では、充足数、就職数を増やすため、受理した正社員求人中から、求人担当者制により求人職員（職員・相談員）がミニ面接会対象事業所を選定し充足に向けた支援を担当した。併せて、担当した職員は、求職者へのアプローチについて相談部門との連携を図り当該ミニ面接会を企画実施した。

このミニ面接会の実績は、月1回～2回を実施することとしており、当所会議室で年合計13回開催し20件の就職実績があった。

また、対象となった求人者及び求職者からは、次回への参加希望が多く、大変好評である。

※ 職員への効果は、ミニ面接会の担当者を固定せず、求人者担当者制として選定した事業所訪問等の接触も行うためそれぞれの職員の意識改革が図られた。

② 雇用保険受給者の早期再就職支援

当所では、雇用保険受給者に係る認定日全員相談において認定来所者全員の職業相談を実施しており、前回認定日に提出した失業認定申告書を基に、事前に有効求人とのマッチング等を実施するなど、積極的能動的な職業相談を実施している。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

職業相談部門と求人専門援助部門において、職員と相談員を組み込んだチームを編成し（職業相談門3チーム、求人専門援助部門3チーム）、組織目標（就職件数、雇用保険受給者の早期再就職件数、充足件数）について、それぞれブレークダウンを行い業務に取り組んだ。

※所全体としての組織目標では現実的な数字に見えないものが、チームごとにブレークダウンし、月ごとに分割するとかなり手の届く数字となって、その進捗管理がしやすかった。（良かったことやできなかったことが明確に意識できた。）

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

育児をしているお母さんたちについては、求職活動の経験や就労経験が乏しいことで、求職活動が不調となることが少なくなく、求職活動のノウハウや就労に必要な知識を習得させることを目的とした就職準備セミナー「名称：ワーキングマザー就活セミナー&フリートーク」を開催することとしている。

(4) その他業務運営についての分析等

東日本大震災の除染作業等については、ほぼ終息の状態である。そのため、建設関連の求人については減少している。また、医療福祉分野の介護求人については引き続き人手不足感が強く、この分野求人に対するマッチング強化として、求職者担当者制を活用した情報提供などを実施するとともに、ミニ面接会の開催を予定している。併せて、隣接するハローワーク郡山に設置されている「人材確保コーナー」との連携を図ることとしている。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

○生活保護受給者等に対する就職支援について、就職件数が目標達成率 158%となり総合評価のポイントに大きく寄与することとなった。福祉事務所との連携が密で、支援対象者との相談を常に福祉事務所の支援員が同行して行うことで対象者の適性等が確認でき、より精度の高いマッチングを行えたことが就職件数の増加につながった。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護受 給者の就職 件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,591	1,655	518	63.6%	97.4%	22.4%	23.6%	68	4,086	827
目標	1,674	1,706	497	90.0%	90.0%	23.0%	24.2%	43	5,228	796
目標達成率	95%	97%	104%	—	—	97%	98%	158%	78%	104%

※「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率